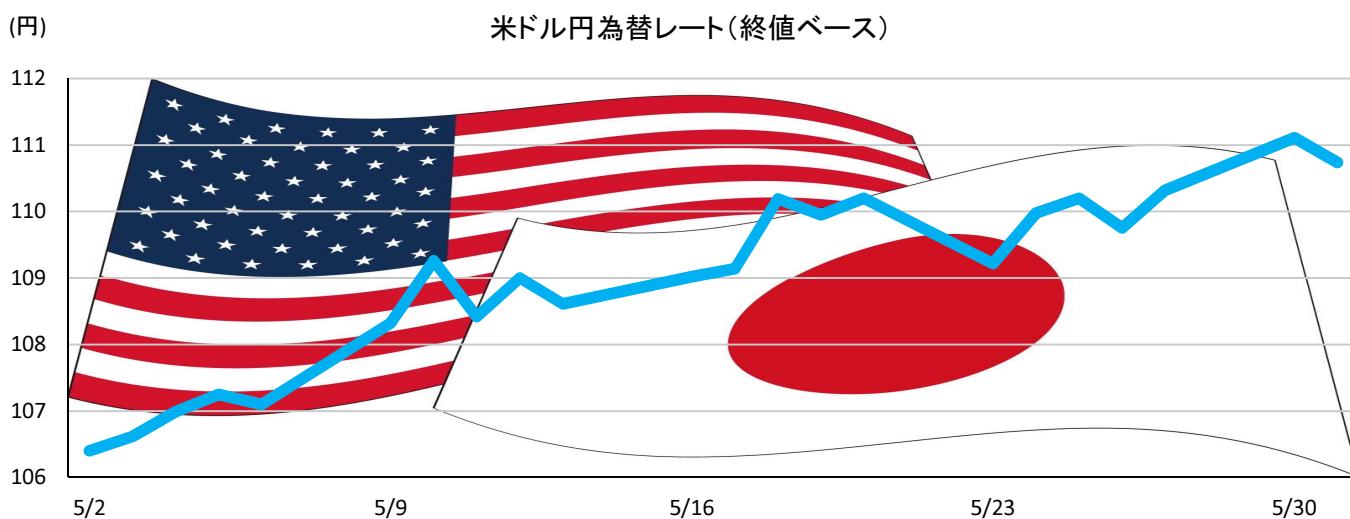


## MARKET REVIEW

**先月の振り返り：**5月のドル円相場は、106円前半～111円前半のレンジで推移。日本ではGWということもあり、瞬間的に105円台まで円高が進行したものの、麻生財務大臣や黒田日銀総裁などによる円高牽制発言や介入警戒感により円高ムードが一転。さらに原油高を背景に株高やFOMC後には米国利上げに関して期待できるということも重なり、円安の流れが続いていた。その後は伊勢志摩サミットにおいて為替相場が議題に上がる上がらないなどの報道により一進一退の動きとなったが、新興国を中心に世界経済に危機感があるとして、消費増税延期が決定。月末には111円台をつけることとなった。



## EXTRA VISION

**今後の展開：**マーケットは円安方向の動きを見せているが、依然として行き過ぎた円高の調整という面をぬぐい切れておらず、今月の経済指標発表からすると一筋縄ではいかないだろう。その中でも最大の注目は日本時間16日午前3時のFOMC。このタイミングで利上げするとみられているが、その後のトレンドを考える上では重要だろう。さらに今回はFOMC後にイエレンFRB議長の記者会見も予定されている。今回利上げするしないにかかわらず、今後の利上げペースも含めた踏み込んだ発言等もあるかもしれないので、今回の記者会見は注目とも言えよう。また23日には英国においてEU離脱について国民投票が実施される。ドル円には直接関係のないもののポンドやユーロ絡みの動きには注意したい。

今月の主な経済指標 ※ 日本時間

日付	時間	国	指標名	重要度
6 / 2 (木)	20 : 45	EU	欧州中央銀行 (ECB) 政策金利	☆☆☆☆
6 / 3 (金)	21 : 30	US	米雇用統計	☆☆☆☆☆
6 / 14 (火)	21 : 30	US	小売売上高	☆☆☆☆
6 / 16 (木)	3 : 00	US	米連邦公開市場委員会 (FOMC)	☆☆☆☆☆
6 / 16 (木)	12 : 30	JP	日銀金融政策決定会合	☆☆☆☆
6 / 16 (木)	21 : 30	US	消費者物価指数 (CPI)	☆☆☆☆
6 / 23 (木)	** : **	UK	EU離脱に関する国民投票	☆☆☆☆